

平成24年度 事業計画書

ヘルパーステーション大慈

1. 《平成24年度法人ヴィジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. 《基本方針》

介護を提供するプロとしての意識を十分に持ち、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ、自立した“安心・安全な生活”を営むことができるよう生活全般にわたる援助を行う。関係市町村、地域の保険・医療・福祉サービスとの機関との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

3. 《目標》

◎サービスマナーの向上を目指す。

- ①技術力に加え、相手を大切に思う気持ちからの挨拶や声掛け、目を見ての会話、丁寧なマナーサービスの提供を行なう。
- ②入浴、排泄、食事の介護だけではなく、環境整備や清潔保持等、生活全般に渡り、質の高い介護サービスを目指す。
- ③ゲストにとって有効な個別援助計画を作成しモニタリングを実施する。

<支援サービスの充実>

これまでの生活習慣や生活様式を尊重し、出来る限り自立した生活が送れるよう、ご本人の意向を大切に生活支援を行っていく。

①食事サービス

ゲストの身体的機能、健康状態、嗜好に合わせた食事の提供をする。

- ・2階独自のアンケート実施し、改善に繋げる。
- ・ゲストに対して口腔ケアの講習を実施する。
- ・嚥下体操の充実を図る。
- ・口腔内の清潔、義歯装着し口の機能の維持、向上させる。

②入浴介助

更衣や入浴中のプライバシーを確保し、くつろいだ雰囲気の中で楽しく安全に入浴出来るような支援を行う。

- ・入浴メンバーの見直しを適宜行う。
- ・四季折々の変わり湯を提供する。(ポスター等で知らせる)
- ・BGMを流す。

③排泄介助

排泄介助は定時の他に個々のサイクルに合わせた随時の排泄介助を行なう。又、排泄のリズムを掴み、ゲストの状況に合わせてパット外しを検討し、ADLの向上に繋げていく。介助に当たっては排泄に伴う一連の声掛け、誘導、脱衣介助においても自尊心を傷つけることのないよう留意する。

④健康維持

ゲスト一人ひとりが心身共に健康で、充実した日常生活が送れるように個別ケアプランに基づき、ゲストの状態の変化に応じた健康の管理に努める。

ゲストの身体的、精神的状況の把握に努め、状態に変化が生じた時は速やかに、看護職員、医師に報告、相談行なう。又、1日最低4回以上の離床、出来る限り自立した生活が送れるよう、残存機能の維持に努める。

⑤安全な生活のための環境の整備

ゲスト一人ひとりが安心して生活出来るように支援員は転倒防止、居室の整理整頓、園内の安全管理を行い、環境整備に努める。

4. 《環境整備計画》

建物や設備の老朽化に伴い、施設環境整備を行う。

- ①空調やボイラー設備等の入れ替え工事
- ②居室内環境の改修工事
- ③ベッドの入れ替え

5. 《職員体制》

管理者 1名 サービス提供責任者 1名 訪問介護員 14名

6. 《介護業務内容》

(1)訪問介護サービス事業(介護保険)

- 1.身体介護
- 2.生活援助
- 3.通院等乗降介助

7. 《事業の実施地域》

養護老人ホーム大慈吉祥園内とする。

8. 《相談苦情の対応》

大慈吉祥園に準ずる。

9. 《関連機関との連携》

当施設内他事業所はもちろんのこと関係市町村、地域の保険・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

10. 《個別援助計画》

ゲストの心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ、自立した日常生活ができる様、援助内容をゲスト及びご家族、ケアマネと相談の結果、一人ひとりのゲストに必要な内容を盛り込み、計画書を作成する。作成後は、援助計画を把握し、必要があれば変更していく。